

政策分野 3

低炭素社会・エネルギー転換

政策分野 4

戦略を支える都市空間

分野 3	低炭素社会・エネルギー転換	目標 7	自然と共生する環境負荷の少ない街	施策 2	多様な活動を支える環境に優しい交通体系の確立	建)	総務部
------	---------------	------	------------------	------	------------------------	-----	-----

(単位:千円)

事業名	30年度 予算額 (一般財源)	31年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考	
			事業費	特定財源						
放置自転車対策・ 駐輪場維持関係、 駐輪場等整備	1,009,000 (532,800)	425,000 (395,401)	423,000 (164,001)	国庫支出金	① 都心部駐輪場整備	651,939	237,080	237,080	【特定財源】 国庫交付金 防災・安全事業費 (交付率:6/10) 土木債 公共事業等債 (充当率:90%) (措置率:20%) 地方道路等整備 事業債 (充当率:90%) (措置なし) 一般単独事業債 (充当率:75%) (措置なし) 雑入 土木その他雑入 【債務負担行為】 自転車等駐輪場整備 (都心地区西2丁目) 限度額:599,000 期間:H32~33年度	
				市債	② 郊外駅駐輪場整備等	177,292	25,465	25,465		
諸収入	③ 自転車通行空間の明 確化	14,869	17,841	15,841						
計	④ 民間等と連携した駐 輪場検討	17,900	7,000	7,000						
	⑤ 放置自転車対策	147,000	137,614	137,614						
	計	1,009,000	425,000	423,000						
事業内容										
<p>① 都心部駐輪場整備 237,080 → 要求のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> 西2丁目線地下駐輪場整備 120,000 駐輪台数:約1,300台、工事延長:約167m 幅員:11.9~12.3m 土木工事(躯体工)等 事業期間:H27~H33年度 総事業費:約43億円 南2西3再開発負担金 117,080 駐輪台数:約750台、専用面積:725㎡ 事業期間:H28~H34年度 総事業費:約6.8億円 <p>② 郊外駅駐輪場整備等 25,465 → 要求のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> 地下鉄大谷地駅の駐輪場整備 駐輪台数:約240台、平面式528㎡ 地下鉄白石駅、新さっぽろ駅における既存駐輪場撤去に伴う 駐輪台数確保に向けた検討 <p>③ 自転車通行空間の明確化 17,841 → 15,841 【査定】経費の精査</p> <ul style="list-style-type: none"> 北大通及び南大通(西5~西11丁目の区間)約800mの道路上に 矢羽根型の路面表示を設置 <p>④ 民間等と連携した駐輪場検討 7,000 → 要求のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> 都心部西側(道庁周辺など)の駐輪場整備についての検討 附置義務条例の見直しに向けた会議運営支援等 <p>⑤ 放置自転車対策 137,614 → 要求のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> 放置自転車撤去・保管・返還等 										

分野 3	低炭素社会・エネルギー転換	目標 8	エネルギー効率の高い持続可能な街	施策 1	次世代エネルギーシステムの普及促進
------	---------------	------	------------------	------	-------------------

環)環境都市推進部

(単位:千円)

事業名	30年度 予算額 (一般財源)	31年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
次世代自動車導入促進	35,000 (35,000)	33,300 (33,300)	33,000 (33,000)		① 次世代自動車導入補助 ② FCVの公用車維持費	30,250 4,750	30,000 3,300	30,000 3,000	
目的・取組内容									
次世代自動車購入費用の一部補助等									
					計	35,000	33,300	33,000	

事業内容

① 次世代自動車導入補助 30,000 → 要求のとおり

(単位:千円)

【新規】	H28実績			H29実績			H30見込			H31予算		
	単価	件数	補助額	単価	件数	補助額	単価	件数	見込額	単価	件数	予算額
EV(電気自動車)	124	28	3,480	161	65	10,500	160	80	12,800	160	60	9,600
EV上乗せ分(V2H同時購入時)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	240	20	4,800
PHV(プラグインハイブリット)	81	32	2,592	44	77	3,397	—	—	—	—	—	—
HV(ハイブリット自動車)	50	66	3,318	51	56	2,872	100	30	3,000	100	3	300
NGV(天然ガス自動車)	80	2	160	80	4	320	80	0	0	100	3	300
FCV(燃料電池自動車)	—	—	—	—	—	—	500	10	5,000	500	20	10,000
充電設備(V2H)	—	1	160	0	0	0	250	5	1,250	250	20	5,000
合計		129	9,710		202	17,089		125	22,050		126	30,000

② FCVの公用車維持費 3,300 → 3,000 【査定】事業内容の精査

- ・ 公用車リース代
- ・ 燃料代

(参考)

■V2H(Vehicle to Home)システム
 ・太陽光発電や電力会社の電気をEV(電気自動車)へ「充電」とともに、EVに蓄えた電気を建物へ「給電」することを可能とするもの。
 ・V2HによりEVを「走る非常用電源」としても活用できる。
 ・さらに太陽光発電も導入することでエネルギーの自給自足が可能となる。

分野 3	低炭素社会・エネルギー転換	目標 8	エネルギー効率の高い持続可能な街	施策 1	次世代エネルギーシステムの普及促進
------	---------------	------	------------------	------	-------------------

環) 環境都市推進部

(単位:千円)

事業名	30年度 予算額 (一般財源)	31年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考				
			事業費	特定財源									
次世代エネルギーシステム導入促進	327,000 (228,250)	330,000 (238,863)	326,000 (234,863)	寄附金 1,000 繰入金 70,060 諸収入 20,077 計 91,137	① 市民向け補助 ② 中小企業向け補助等 ③ 補助募集・抽選業務等	214,650 93,470 18,880	229,800 80,888 19,312	229,800 80,888 15,312	【特定財源】 寄附金 環境保全対策費 基金繰入金 環境保全対策費 貸付金元利収入 次世代エネルギーシステム導入補助事業費 【債務負担行為】 新エネ省エネ機器導入補助受付 限度額:8,000 期間:H32年度 (参考) ■V2H(Vehicle to Home)システム ・太陽光発電や電力会社の電気をEV(電気自動車)へ「充電」するとともに、EVに蓄えた電気を建物へ「給電」することを可能とするもの。 ・V2HによりEVを「走る非常用電源」としても活用できる。 ・さらに太陽光発電も導入することでエネルギーの自給自足が可能となる。 ■HEMS(Home Energy Management System) ・情報通信技術を活用した家庭内のエネルギー管理システム。				
目的・取組内容													
市民及び中小企業者等の新エネ・省エネ機器導入に対する補助等													
事業内容													
① 市民向け補助 229,800 → 要求のとおり 市民を対象とした太陽光発電やペレットストーブの購入に対する補助 (単位:千円)													
【新規】	H28実績		H29実績			H30見込			H31予算				
		単価	件数	実績額	単価	件数	実績額	単価	件数	見込額	単価	件数	予算額
	太陽光発電	180	429	69,599	225	348	64,133	252	457	115,164	225	534	120,150
	太陽光上乘せ分	-	-	-	-	-	-	-	-	-	338	20	6,750
	ゼロエネルギー化	-	-	-	-	-	-	300	1	300	300	10	3,000
	定置用蓄電池	500	173	82,260	200	203	40,600	160	293	46,880	160	240	38,400
	エネファーム	150	106	15,900	150	117	17,550	150	164	24,600	150	160	24,000
	ガスエンジン	80	262	20,960	80	312	24,960	70	396	27,720	60	400	24,000
	木質バイオマスストーブ	100	26	2,599	100	68	6,591	100	102	10,200	100	90	9,000
	太陽熱利用	100	0	0	100	0	0	100	0	0	100	5	500
	地中熱ヒートポンプ	500	4	800	200	9	1,800	200	11	2,200	200	20	4,000
HEMS	70	150	7,078	20	141	2,820	20	163	3,260				
合計		1,150	199,196		1,198	158,454		1,587	230,324		1,479	229,800	
② 中小企業向け補助等 80,888 → 要求のとおり 中小企業・法人を対象とした太陽光発電やLED照明の設置に対する補助等													
③ 補助募集・抽選業務等 19,312 → 15,312 【査定】事業内容の精査													

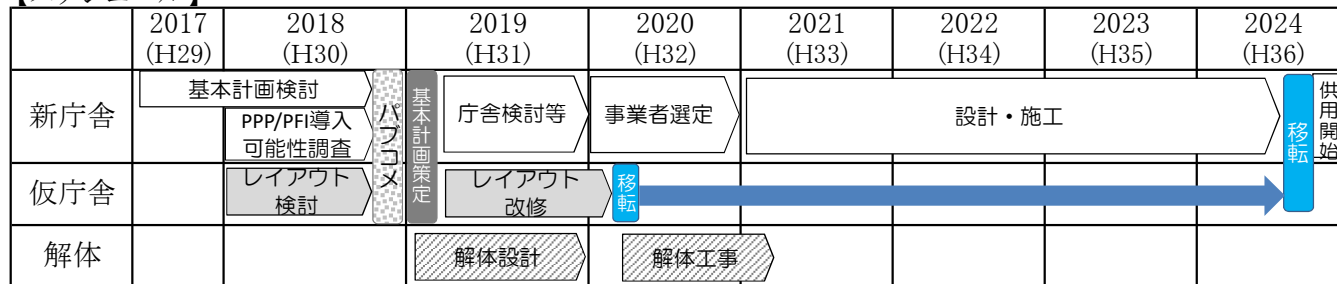
(単位:千円)

事業名	30年度 予算額 (一般財源)	31年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源 諸収入					
中央区役所 庁舎整備	14,000 (14,000)	347,645 (342,628)	308,000 (302,983)	5,017	① 仮庁舎整備 ② 新庁舎整備検討等	0 14,000	283,357 64,288	246,005 61,995	【特定財源】 雑入 総務その他雑入 【債務負担行為】 中央区役所庁舎整備 限度額:507,000 期間:H32年度
目的・取組内容									
耐震性や老朽化等の現状課題を踏まえ、中央区役所新庁舎の整備に係る検討、仮庁舎の整備、現庁舎の解体設計等を実施									
					計	14,000	347,645	308,000	

事業内容

- ① 仮庁舎整備 283,357 → 246,005 【査定】経費の精査
- ② 新庁舎整備検討等 64,288 → 61,995 【査定】経費の精査

【スケジュール】



【総事業費】

事業期間	事業費
H31~H36	112億円

分野 4	都市空間	目標 9	世界都市として魅力と活力あふれる街	施策 4	活力があふれ世界を引きつける都心
------	------	------	-------------------	------	------------------

政) 都 市 計 画 部

(単位:千円)

事業名	30年度 予算額 (一般財源)	31年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
再開発事業関連 目的・取組内容 民間投資を最大限に活用し、都心周辺にふさわしい土地の高度利用と都市機能の更新を図るため、民間再開発事業及び優良建築物等整備事業の施行者等に事業費の一部を補助	6,581,000 (493,198)	3,408,000 (421,844)	3,408,000 (421,844)	国庫支出金	① 南2西3南西地区再開発事業	1,942,000	569,000	569,000	【特定財源】 国庫交付金 社会資本整備総合交付金 (交付率:1/2) 土木債 公共事業等債 (充当率:90%) (措置率:20%)
				1,440,156	② 北8西1地区再開発事業	622,000	689,000	689,000	
				1,546,000	③ 北4東6周辺地区再開発事業	2,881,000	1,081,000	1,081,000	
				計	④ 北3東11周辺地区再開発事業	920,000	631,000	631,000	
				2,986,156	⑤ 北3西3南地区優良建築物等整備事業	180,000	290,000	290,000	
					⑥ 苗穂駅北口西地区優良建築物等整備事業	36,000	148,000	148,000	
					計	6,581,000	3,408,000	3,408,000	
事業内容									
① 南2西3南西地区再開発事業 ＜スケジュール＞ H31年度 H34年度	569,000	→	要求のとおり ＜事業費＞	全体事業費 総補助額	24,120,550 6,220,500				
② 北8西1地区再開発事業 ＜スケジュール＞ H31年度 H34年度	689,000	→	要求のとおり ＜事業費＞	全体事業費 総補助額	50,432,212 9,834,000				
③ 北4東6周辺地区再開発事業 ＜スケジュール＞ H28年度 H32年度	1,081,000	→	要求のとおり ＜事業費＞	全体事業費 総補助額	33,067,000 6,118,200				
④ 北3東11周辺地区再開発事業 ＜スケジュール＞ H31年度 H33年度	631,000	→	要求のとおり ＜事業費＞	全体事業費 総補助額	21,365,901 3,801,200				
⑤ 北3西3南地区優良建築物等整備事業 ＜スケジュール＞ H30年度 H31年度	290,000	→	要求のとおり ＜事業費＞	全体事業費 総補助額	11,422,097 470,000				
⑥ 苗穂駅北口西地区優良建築物等整備事業 ＜スケジュール＞ H30年度 H32年度	148,000	→	要求のとおり ＜事業費＞	全体事業費 総補助額	11,397,000 728,260				

分野 4	都市空間	目標 9	世界都市として魅力と活力あふれる街	施策 7	持続可能な都市を支えるネットワーク_1_交通ネットワーク	政) 総合交通計画部
------	------	------	-------------------	------	------------------------------	------------

(単位:千円)

事業名	30年度 予算額 (一般財源)	31年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
地域公共交通 利用環境改善	149,000 (149,000)	179,000 (179,000)	179,000 (179,000)		① バスロケーションシ テム導入補助	66,000	105,000	105,000	
					② ノンステップバス補助	8,400	8,400	8,400	
					③ 地域公共交通確保維 持改善等協議会	2,600	2,600	2,600	
					④ UDタクシー導入費 補助	72,000	63,000	63,000	
					計	149,000	179,000	179,000	

目的・取組内容

公共交通機関の利便性向上に向けた各種取組を実施

事業内容

- ① バスロケーションシステム導入補助 105,000 → 要求のとおり
 ・バス事業者のバスロケーションシステム導入経費の1/3を補助(国も1/3を補助)
 ・H28年度及びH29年度は実績なしであるが、H30年度から導入を開始。H31年度に主要4社にシステムが導入され、事業終了見込み
 ※H31年度:313,492千円(各社導入経費合計)×1/3(補助率)≒104,500千円
 →補助想定620台(内訳:中央バス420台、じょうてつバス200台)
 ※AP策定時と比較して、各社の導入機器が具体化するに伴い事業費が大幅に増加(AP時:63,000千円→現在の想定:227,830千円)
- ② ノンステップバス補助 8,400 → 要求のとおり
 ・清田区以外:4,200千円(700千円×6件) ※単価700千円は国の補助の1/2
 ・清田区内:4,200千円(1,050千円×4件) ※単価1,050千円は国の補助の3/4
- ③ 地域公共交通確保維持改善等協議会 2,600 → 要求のとおり
- ④ UDタクシー導入費補助 63,000 → 要求のとおり
 ・ユニバーサルデザインタクシーの普及促進を図るため、タクシー事業者に対し、導入促進補助金を交付(H29年度から)
 ・環境性能の高い車両に限定(ハイブリッドのUDタクシーはH28年に日産が、H29年にトヨタがそれぞれ販売開始)
 ・300千円×210台(国は補助率1/3(上限600千円)。市補助はその半額)

■ UDタクシー導入予定

年 度	H29	H30	H31	合計
予 定 台 数	80	240	210	530

※H31年度までに札幌市内の全タクシー5,305台(H30.10.1時点)の約10%に補助を実施(H31年度サンセット予定)

分野 4	都市空間	目標 9	世界都市として魅力と活力あふれる街	施策 7	持続可能な都市を支えるネットワーク_1_交通ネットワーク	政) 総合交通計画部	
------	------	------	-------------------	------	------------------------------	------------	--

(単位:千円)

事業名	30年度 予算額 (一般財源)	31年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
路面電車活用推進	1,068,000 (109,525)	1,261,000 (159,000)	1,245,000 (155,850)	国庫支出金 575,150 市債 514,000 計 1,089,150	① 低床車両導入 ② 電力設備増強 ③ 既設線機能向上 ④ 車両基地改良 ⑤ その他 計	434,000 19,329 534,670 41,953 38,048 1,068,000	590,000 549,340 59,310 15,100 47,250 1,261,000	590,000 536,627 59,261 14,162 44,950 1,245,000	【特定財源】 国庫補助金 街路交通調査費 (補助率:1/3) 国庫交付金 社会資本整備総合交 付金 (交付率:1/2) 土木債 公共事業等債 (充当率:90%) (措置率:20%)
<p>目的・取組内容</p> <p>高度化実施計画に基づく既設線の機能向上や延伸検討調査などの実施</p> <p>事業内容</p> <p>① 低床車両導入 590,000 → 要求のとおり 単車タイプ(愛称:シリウス)、定員は60名、発注年度の翌年に納車(H30年度に1台、H31~34年度は2台ずつの合計9台導入予定) 1台当たりの車両価格:282百万円 H31年度導入車両(2台):272,000千円、H32年度導入車両(2台):318,000千円</p> <p>② 電力設備増強 549,340 → 536,627 【査定】経費の精査 低床車両導入に伴い、現在の電源能力では電源不足が発生することから、H33年度までに新変電所を整備 ・変電所整備箇所:中央区南6条西15丁目(現在は建設局所管、民間に駐車場として貸出) ・総事業費見込(H31~33年度):約10億円 事業内容:新変電所建設、変電機器の整備</p> <p>③ 既設線機能向上 59,310 → 59,261 【査定】経費の精査 制振軌道化</p> <p>④ 車両基地改良 15,100 → 14,162 【査定】経費の精査 低床車両の導入に伴い、車庫容量が不足するとともに、工場設備の能力不足が発生することから整備を実施 ・H31年度実施内容:実施設計</p> <p>⑤ その他 47,250 → 44,950 【査定】経費の精査 交通局への事務負担、LRT都市サミット、延伸検討調査の実施等</p>									

分野 4	都市空間	目標 9	世界都市として魅力と活力あふれる街	施策 10	都市基盤の維持・保全と防災力の強化
------	------	------	-------------------	-------	-------------------

都) 建 築 指 導 部

(単位:千円)

事業名	30年度 予算額 (一般財源)	31年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
民間建築物耐震化促進	166,000 (84,524)	352,000 (177,724)	348,000 (175,124)	特定財源 国庫支出金 172,876	① 民間建築物耐震化への補助 ② 木造住宅耐震化への補助等 ③ 【新規】ブロック塀の安全対策支援 ④ 耐震化に関する相談業務、普及啓発等	124,900 32,200 0 8,900	286,900 32,200 2,000 30,900	286,900 32,200 2,000 26,900	【特定財源】 国庫交付金 社会資本整備総合交付金 (交付率:1/2) 【補助制度概要】 ■民間建築物(非木造) ・予備調査、診断、設計 補助率2/3 (12、150、500万円以内) ・工事 補助率23%、3,500万円以内 ■要緊急安全確認大規模建築物 ・設計 補助率2/3、500万円以内 ・工事 補助率23%、2億円以内 ■木造住宅 ・診断 診断員を無料で派遣 ・設計&工事パッケージ 補助額100万円 (工事費の8/10以内) ・設計 補助率2/3、10万円以内 (共同住宅、長屋は20万円以内) ・工事 補助率1/3、80万円以内
目的・取組内容									
災害に強い都市を構築するため、民間建築物の耐震診断や耐震工事に補助を行うなど、建物所有者の耐震化への取組を支援									
					計	166,000	352,000	348,000	
事業内容									
① 民間建築物耐震化への補助		286,900	→	要求のとおり					
■ 民間建築物(非木造)		調査: 1件		診断: 5件					
		設計: 3件		工事: 2件					
■ 要緊急安全確認大規模建築物		設計: 6件		工事: 2件					
② 木造住宅耐震化への補助等		32,200	→	要求のとおり					
■ 診断		200件							
■ 設計&工事パッケージ		20件							
■ 設計、工事		各 1件							
③ 【新規】ブロック塀の安全対策支援 ブロック塀等の撤去費用への補助		2,000	→	要求のとおり					
④ 耐震化に関する相談業務、普及啓発等		30,900	→	26,900	【査定】経費の精査				
■ 相談窓口設置 補助案件の審査 市民向けセミナー 【新規】改修事業者向け説明会 等		16,100		12,100					
■ 【新規】木造住宅への案内配布		14,800							

分野 4	都市空間	目標 9	世界都市として魅力と活力あふれる街	施策 10	都市基盤の維持・保全と防災力の強化	建)	土 木 部
------	------	------	-------------------	-------	-------------------	-----	-------

(単位:千円)

事業名	30年度 予算額 (一般財源)	31年度 要求額 (一般財源)	査定額		事業費内訳	前年度予算	要求	査定	備考
			事業費	特定財源					
道路等災害復旧	0 (0)	3,330,000 (155,000)	3,330,000 (155,000)	国庫支出金 1,992,000 市債 1,183,000 計 3,175,000	① 本復旧工事	0	3,330,000	3,330,000	【特定財源】 国庫負担金 公共土木施設災害復旧費 (負担率:4/5) 国庫交付金 防災安全事業費 (交付率:1/2) 市債 補助災害復旧事業債 (充当率:90%) (措置率:95%) 一般単独災害復旧事業債 (充当率:100%) (措置率:47.5%) 公共事業等債 (充当率:90%) (措置率:20%) 【債務負担行為】 道路等災害復旧 限度額:700,000 期間:H32年度 ※一般財源のうち事務費25,000を除く130,000について備荒資金収入を見込む
目的・取組内容					計	0	3,330,000	3,330,000	

事業内容

① 本復旧工事 3,330,000 → 要求のとおり

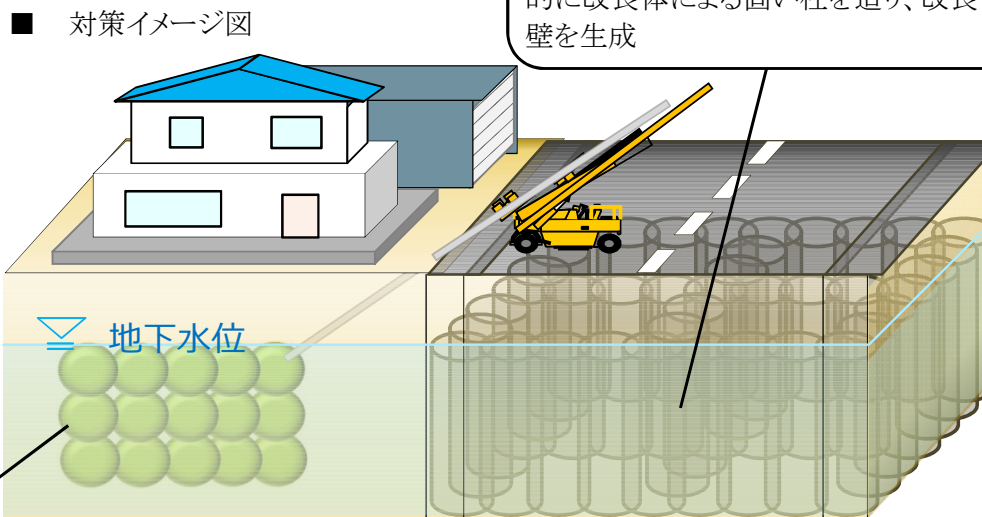
■ 総事業費:49.7億円 期間:H30~H32年度
道路部復旧25.8億円、宅地部復旧23.0億円、その他(復興まちづくり計画策定等)0.9億円

■ 各部の対策について
道路部 → 深層混合処理工による地盤改良等
宅地部 → 薬液注入工による地盤改良等

- H31年度予算における事業内容
- 道路部復旧(1,225百万円)
里塚21号線を除く道路の地盤改良工等
 - 宅地部復旧(2,020百万円)
薬液注入による地盤改良工等
 - その他(85百万円)
復興まちづくり計画策定、境界測量等

【宅地部】

地下水位以下の液状化層(緩い層)に、薬液を注入土粒子の隙間の水をゲル状の薬液に置き換える



【道路部】

地下水位以下の盛土層を対象に、土とセメント系固化材を混合し、土中に連続的に改良体による固い柱を造り、改良壁を生成